

地域とともにある

勢いのある学校

No. 19 (R2. 10. 1発行) 文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

チームとしての学校

「チームとしての学校」…この言葉をお聞きになったことがありますか。この言葉は、「中央教育審議会」の中の「チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会」が平成27年度に答申した中に示されているものです。一般的には「チーム学校」と言われることが多いものでもあります。この言葉、よく使われる「チーム〇〇」という言葉と似ていますが、実はこの二つは考え方が少し異なるものなのです。「チーム〇〇」という言葉は、チームワークの良さをアピールする場合に使われることが多く、定義があるものではありません。

「チーム学校」は、多様化、複雑化する子どもの状況に対して、教員の専門性だけで対応することが困難になってきている状況から考えられたもので、この答申に定義されたものです。その定義によると、教員の専門性の向上を図るとともに、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、様々な業務を連携・分担してチームとして職務を担う体制を整備するというものなのです。具体的な専門スタッフとして考えられているのが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ICT支援員、部活動支援員（仮称）、地域連携担当教職員（仮称）、管理職を補佐する主幹教諭等になります。また、事務職員の職務内容を見直し、組織力を高めることも考えられています。

そこで、本校の状況を考えてみますと、ICT支援員（大塚さん）がほぼ定期的に来校され、ICT機器のメンテナンスや職員からの機器活用に関する相談に対応してくれています。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは上益城教育事務所に配置されており、必要に応じて本校でも相談活動をしていただいております。ALT（ターパン・クリストファー先生）は中学校の所属ですが、週に一回火曜日に本校での授業に入ってくれています。英語教育支援員（斎賀先生）は滝尾小学校所属ですが、週に一回木曜日に本校での授業に入ってくれています。この他にも、「チーム学校」としての配置ではありませんが、初任者の指導のため、御船小学校所属の指導教員（校長を退職された田中先生）が週に一回金曜日に来校され、初任者指導に当たっていただいております。初任者の永嶺先生が校外研修に行かれる日には、本校の元教頭先生であり、うさぎクラブの指導もされている田上先生が2年生の授業を担当されます。

さらに、コロナウイルス感染防止対策の中でスクール・サポーター・スタッフの配置が決定し、本日（10月1日）から本校職員が1名増えました。赴任されたのは、須崎由野先生です。今後、校内の消毒作業等の感染防止に関する業務、学習プリントの作成等の学習面の補助作業に当たっていただきます。

このように考えてみると、国の方針に沿った、県や町の教育施策により、本校も「チームとしての学校」の体制がかなり整いつつあると考えられます。本当にありがたいことです。そして、これだけの条件を整えていただいている中で、その成果を子どもたちの姿として示していかなければならないと責任の大きさを改めて感じているところです。

上記の先生方については、保護者の方々にご紹介する機会がありませんので、この機会に写真だけでもご紹介したいと思います。裏面に掲載しておりますので、ご覧ください。



ICT支援員 大塚さん



A L T クリストファー先生



英語教育支援員 齋賀先生



初任者指導教員 田中先生



スクール・サポート・スタッフ
須崎先生

【HPにはカラー写真を掲載します】